

4 在籍生徒数(平成30年4月1日現在)

	1年	2年	3年	合計
男	17	23	10	50
女	17	15	20	52
合計	34	38	30	102

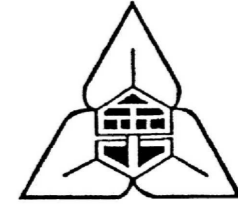
5 行事予定

月	主な行事
4	着任式 始業式 入学式 対面式 避難訓練Ⅰ 町学力調査 全国学力調査 授業参観 PTA総会 修学旅行
5	二者面談 1年田植え体験 避難訓練Ⅱ 口腔指導 前期生徒会総会
6	郡中総体 花いっぱい運動 避難訓練Ⅲ 2年職業人に学ぶ 郡陸上大会 期末考査 三地区水泳大会 2年薬物乱用防止教室 1年喫煙防止教室 3年子育て理解講座
7	2年救急救命講習 授業参観 吹奏楽コンクール仙南大会 1学期終業式 県中総体 数学オリンピック大会 教育相談(1・2年:家庭訪問, 3年:三者面談) PTA親子バレーボール大会
8	まちづくり夢未来会議 PTA親子奉仕作業 2学期始業式 3年人権教室 少年の主張地区大会 三地区駅伝大会
9	指導主事訪問 2年職場体験 1年仙台自主研修 郡新人大会 2年えずこ招待事業 1年稲刈り体験
10	2年総合発表 町小・中音楽祭 生徒会役員選挙 金中祭 1年巡回小劇場 柴田地区弁論大会
11	ふれあいちょボラ 生徒会総会 期末考査 防災教育 3年性教育講演会 地域防災訓練 堤神楽講習会 町クロスカントリー大会 金小6年部活動見学 三者面談(～12/7)
12	町学力検査 授業参観 2学期終業式 アンサンブルコンテスト
1	3学期始業式 校内書きぞめ展 公立高校前期選抜入試 金小出前授業①
2	金小出前授業② 期末考査 新入生保護者入学説明会
3	3年生を送る会 公立高校後期選抜入試 第72回卒業式 学年PTA 修了式 離任式

6 職員一覧(平成30年4月1日現在)

	職名・学級	氏名	主な校務分掌
1	校長	品川 信一	学校C I O
2	教頭		校務全般, P T A
3	教務主任		教育課程, 地域連携担当者
4	1年主任		保健主事
5	1年1組		安全教育, 防災主任
6	1年副担		生徒会会計
7	2年主任		研究主任, 道徳教育推進教師
8	2年1組		教育相談
9	ひまわり学級		生徒指導主事
10	3主・コスモス		特別支援コーディネーター
11	3年副主		進路指導主事・情報化推進リーダー
12	3年1組		志教育推進教師
13	養護教諭		保健指導, 給食主任, いじめ・不登校対策担当者
14	主査		経理・総務会計
15	非常勤講師		家庭科担当
16	非常勤講師		美術科担当
17	非常勤講師		日本語指導
18	教員補助		教育活動全般補助
19	業務員		学校営繕
20	図書司書補助		図書館業務
21	スクールカウンセラー		教育相談
22	A L T		英語指導
23			総合教育センター研修(1年間)

平成30年度



大河原町立金ヶ瀬中学校 学校要覧



四 三 二 一
 つとめ 知識を求め 励まんもろとも
 さだめ 月の日 怠ら ず
 春 秋 め ぐる 三 年 の
 よき 国民 は 生 ま る べ し
 むつみ 庭に 集い きて
 教 え の 学 ぶ 窓 の も と
 恵 み だ け き わ が 里 の
 蔵 王 の 峰 を 仰 が ず や
 夕 焼 け す れ ば 西 空 に
 白 石 川 は 水 澄 み て
 み どり 色 濃 き 頼 母 山
 里 にお かけ し 学 び の 舎
 ひ ら け ら れ し 金 ヶ 瀬 の
 は ら け せ ぎ 世 々 の 昔 よ り
 山 脈 つ づ く 東 北 の
 一 脈 づ づ 東 北 の

校歌

大池唯雄
海鋒義美
作曲 作詞

〒989-1224 宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字原74
 TEL(0224)53-1369・FAX(0224)51-1076
 E-mail ; kinchu@ogawara-k.miyagi.jp

1 学区の概要

近くを流れる白石川の赤褐色をした瀬色に由来するという「金ヶ瀬」地区は大河原町の西部に位置し、多くの遺跡のある丘陵地を背後に持つ自然豊かな土地柄である。白鳥伝説のある大高山神社があるなど古くから開け、藩政時代には奥州街道の宿場町として栄えた。明治21年に町・湯尻・新開からなる平と堤・新寺の三カ村が合併して金ヶ瀬村に、昭和31年には大河原町と合併して現在に至っている。

学校の南に位置する町並みは宿場町の面影をとどめ落ち着いているが、近年住宅地の開発により、商業施設等が増え学校を取り巻く環境にも変化がみられる。それに伴い、農業が主産業であった本地区にも、新築の住宅が増え、農業以外の仕事に従事する住民の割合が大きくなっている。しかし、地域の連帯意識は強く、学校教育への関心が高く協力的である。

南に国道4号線が、また北には新寺や堤を通り蔵王町へ抜ける道路が通り、朝夕を中心に車両の通行が多い。平成25年4月には金ヶ瀬さくら大橋が開通したことにより、今後ますます交通量の増加が見込まれる。

生徒は積極性・忍耐力・表現力等に若干の課題が見られるが、純朴・温和でおおらかで、何事にも真剣に取り組んでいる。

2 学校沿革

昭和 22 開校（金小校舎借用）

24 二階建校舎新築

26 同窓会発足

30 校章・校歌制定

31 現在地に移転

42 体育館新築

46 プール竣工

48 県知事より生徒会表彰

53 完全給食実施

57 校木 アカマツ指定

61 部室設置（貨車4輛）

62 新校舎落成

63 和太鼓・庭園寄贈

平成 2 校木「希望の松」移転

6 校医松山京子先生退任記念植樹

9 創立50周年記念式典

16 体育館トイレ水洗工事

19 体育館耐震補強工事

21 大河原町ICT環境整備事業（電子黒板等）

22 ユネスコスクール加盟

23 学校支援組織「金未来隊」設立

第1回地域防災訓練開催

25 法務大臣感謝状

26 健康教育推進優良校全国表彰

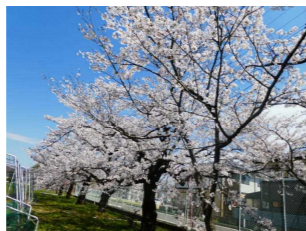
27 体育館お別れ式

屋内運動場改築工事完了（新体育館）

28 体育館お披露目式

29 授業用タブレット導入

地域防災訓練実施



3 学校経営概要

1) 学校教育目標

金ヶ瀬中学校の生徒であることに誇りをもち、自主性と敬愛の精神に富み、心身ともに健康な生徒を育成する。

〈目指す生徒像〉

『自主』：自ら学び続ける生徒

『敬愛』：豊かな心をもつ生徒

『健康』：心身をきたえる生徒

〈目指す学校像〉

『誇り』：信頼される学校

『出会い』：夢を育む学校

『感動』：力を伸ばす学校

〈目指す教師像〉

金ヶ瀬中学校に勤務することに誇りをもち、生徒と共に歩み、生徒、保護者、地域から信頼され、自己を高める教師。



2) 学校経営基本方針

関係法令、県、教育事務所、町の教育方針に則り、一人一人の生徒は、かけがえのない存在であることを深く認識し、全職員の英知と創意を結集して目指す生徒像の具現を期す。

3) 本年度の重点施策【生徒の力を伸ばす学校づくり】

(1) 学習指導の充実と学力向上

- ①「金ヶ瀬中学校授業の約束」、「家庭学習の手引き」をもとに人間性等も含め学びの基礎をなすものの育成とともに、生徒の構えを強化する。
- ②県教委の「5つの提言」、大河原町学力向上5本の矢+ワンをもとに、生徒の育成を図ると共に、わかる授業の工夫を重ね、教師の授業力向上と共に生徒の学力向上を目指す。
- ③校内研修を充実させ、個や集団の学びを深め・高め合わせるための表現活動を取り入れた授業づくりを通して確かな学力を育み、教科目標を達成する。
- ④各種学力調査、考査等の結果を分析し、指導の検証・改善を行う。
- ⑤朝学習により、既習事項の復習を行い、基礎基本の確実な定着を図る。
- ⑥朝読書の推進と暗唱読本「寿限無」活用、学校図書室との連携を工夫し、読書活動の充実を図る。

(2) 積極的な生徒指導と心の教育の充実

- ①家庭との連携を図りながら生徒理解を深めて個に応じたきめ細かな指導を行い、個のよさを伸ばし、社会的資質や行動力を高め、将来の社会生活において自己実現できる資質・能力を育てる。
- ②学校の教育活動全体を通して教職員が組織的に計画的な指導を行うとともに、望ましい人間関係をつくる学級・学年経営を進めることで生徒の自己肯定感を高めさせる。
- ③定期教育相談やチャンス相談の機会を生かして共感的な生徒理解に努めるとともに、SCやS

SW、心のケアハウスとの連携を図った教育相談体制をなお一層強める。

- ④いじめや問題行動の未然防止及び早期発見、早期解決に不断なく努める。
- ⑤「環境が人をつくる」という理念のもと、季節感や潤い、励みを与える廊下経営や教室等の掲示物の工夫により、心の安定を図る。また、校舎内外の清掃・美化活動を徹底させることで校舎や施設を大切にする心情を育てる。

(3) 夢を育み志に高める指導の充実

- ①地域の教育資源を活用し、目的を明確にした体験学習を計画的に実施し、達成感や成就感を味わわせることで生徒の自己有用感を高め、よりよく生きようとする志に高める。
- ②金未来隊と連携した体験活動や地域伝統芸能体験、ボランティア活動などを通じて、地域住民にかかわり、社会の中で果たすことができる役割に気付かせ、自己の生き方について主体的に求めていく態度を育てる。
- ③今学習していることが将来どのように役立つのか気付かせるような教科学習、特別活動、道徳、総合的な学習の時間の指導を充実させるとともに相互を関連付けた指導を追究する。

(4) 保健・安全指導の充実

- ①教科体育、部活動等を通して生徒の体力増進と運動能力の向上を図る。
- ②健康診断、保健指導を通して疾病の完全治療を促進させるとともに、口腔、喫煙、薬物、性、命に関する指導を充実させ、自己の健康促進及び健康管理能力を高める。
- ③地域医療と連携した保健指導を行うことで、地域の一員として地域を支えていこうとする心構えを育てる。
- ④安全教育、防災教育を充実させ、生徒の危険予見能力を高める。
- ⑤校舎内外の安全点検と施設設備の維持管理に最大の注意を払い、事故の未然防止に努める。

(5) 特別支援教育の充実

- ①特別に支援を必要とする生徒の自立や社会参加に向けて特別支援コーディネーターを中心として生徒の特徴を的確に把握し、情報を共有し、教職員全員でインクルーシブ教育を推進する。
- ②障害についての理解を深め、個に応じた適切な指導法を知るための研修を充実させる。
- ③個別の指導計画に基づいて、家庭・関係諸団体との連携を図りながら必要な支援を行う。

